

保証書

持込修理 無料修理規定



1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
 2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
 - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります）
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理がご依頼にできない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan
 5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	オートフィード シュレッダー			★お買い上げ日：	年	月	日
型番	SHR-AF164	品番	00-5148	保証期間：本体 1 年間（お買い上げの日から）			
お客様	(フリガナ) ★お名前 様						
	★ご住所 〒 -						
	電話 ()						
修理メモ							
販売店	★住所 店名 電話						
	印						

(注) ★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00 日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

00-5148A

AUTO FEED SHREDDER

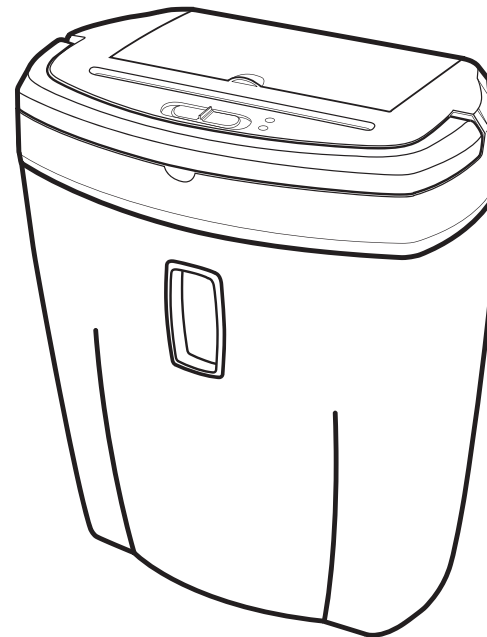
オートフィードシュレッダー
SHR-AF164

取扱説明書

保証書付

商品特長

- ◎オートフィードの場合
紙をオートフィード投入口に
セットするだけで自動的に細断
(セット枚数 A4 サイズ 60 枚まで)
- ◎手差しの場合
A4 コピー用紙 (64g/m²)
5 枚まで細断可能
- ◎オーバーヒート自動停止機能つき
モーターを過熱から保護するために
自動的に停止状態にします
- ◎大容量ボックス
約 21 リットルまで収納
- ◎細断サイズ
約 4×40mm
- ◎作動音 65dB



品番 00-5148

目 次

仕様	1
安全上のご注意	2～4
各部の名称と働き	5～6
インターロックスイッチ 機能	6
使用方法	7
紙を細断する	7
細断くずを捨てる	8
紙詰まりの処理	8
オーバーヒート	8
お手入れ方法	9
故障かな？と思ったら	10
保証書	裏表紙

仕 様

型 番	SHR-AF164	品 番	00-5148
外 形 寸 法	約 幅 351× 奥行 220× 高さ 444mm		
質 量	約 4.7kg		
電 源	AC100V 50/60Hz		
消 費 電 力	120W		
定 格 電 流	1.5A		
定 格 時 間	3 分 / 休止時間 60 分		
投 入 口 幅	約 220mm		
細 断 サ イ ズ	約 4×40mm		
最大細断枚数	A4 コピー紙 (64g/m ²) 5 枚		
細 断 速 度	1.6m/ 分		
コードの長さ	約 1.5m		
ダストボックス容量	約 21 ℓ		
材 質	本体：ABS ダストボックス：PP		

※測定条件：室温 20～25℃、相対湿度 45～55%、A4 コピー用紙 (64g/m²)
 ※仕様及び外観は改良のため、予告なく変更する場合があります。

■トラブルが発生した場合は以下のチェックを行なってください。

現 象	確 認 内 容	対 処 法
動作しない	電源プラグは正しくコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	「主電源スイッチ」が〈－〉(入)になっていますか？	「主電源スイッチ」が〈－〉(入)の位置にしてください。
	「機能スイッチ」が〈自動〉になっていますか？	「機能スイッチ」を〈自動〉の位置にしてください。
	細断するものが投入口の「オートスタートスイッチ」の部分に入っていますか？	投入口中央部にある「オートスタートスイッチ」を通過するように投入してください。
	「ダストボックス」が本体に正しくセットされていますか？	「ダストボックス」を正しく本体にセットしてください。
細断が止まる	細断物が投入口で詰まっていますか？	「機能スイッチ」を〈逆転〉の位置に合わせて紙を取り除いてください。 紙の量を減らして再投入してください。
	「定格時間」以上、連続使用していませんか？ 長時間詰まった状態で放置していませんか？	3 分以上連続で使用した場合や、紙詰まりの状態で放置した場合モーターの過熱保護のために細断を自動的に停止させることがあります。復帰させるには、「主電源スイッチ」を「○」〈切〉の位置にして 60 分以上休ませモーターの温度が下がるまでお待ちください。
	「ダストボックス」が細断くずで一杯になっていませんか？	細断くずを捨ててください。 (本文 8 ページ細断くずを捨てる参照)
クロスカット状に細断されない	「規定枚数」以上投入していませんか？	手差し細断で一度に細断できる枚数は A4 コピー用紙 (64g/m ²) 5 枚までです。枚数を減らして再度、投入してください。

上記を確認しても現象が改善されない場合は事故防止のため、ただちに使用を中止して、必ず販売店または弊社修理で相談センターに修理・点検を依頼してください。

使用方法

■お手入れ方法

■お手入れは本体外部樹脂と「ダストボックス」のみを行なってください。

1. 「機能スイッチ」を〈停止〉の位置にし、「主電源スイッチ」を〈○〉（切）の位置にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を少量布につけて拭き取ってください。

警告

- 可燃性スプレー（潤滑剤、オイルスプレー、エアーダスターなど）を絶対に吹きかけないでください。可燃性ガスが本製品内部に残留し、引火や爆発のおそれがあります。
- 細断刃部分には手をふれないでください。

注意

- シンナーやベンジン等の有機溶剤は変色、変形、傷の原因となりますので絶対に使用しないでください。

安全上のご注意

必ずお守りください

■表示について：表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。
（下記は図記号の一例です。）



禁止

この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。



指示

この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告



取扱説明書参照

- ご使用になる前に必ず本書をお読みいただき、安全にお取り扱いください。



子供使用禁止

- 乳幼児やお子様、ペットを近づけたり、近くで使用しないでください。
 - 絶対にお子様には触れさせたり、使用させないでください。
- 思わぬ事故や、感電、けがのおそれがあります。



手を入れるな

- 投入口や排出口に手や指を絶対に入れないでください。
 - 細断中は紙から手を離してください。指で紙を押し込んだり、紙をつかんだりしないでください。
 - カッター部には絶対に触れないでください。
- けがのおそれがあります。



髪の手巻き込み注意

- 髪の毛を投入口に近づけないでください。
- 投入口に引き込まれ、けがのおそれがあります。



衣類巻き込み注意

- ネクタイ、スカーフ、カードホルダー、服の袖や裾、腕時計のベルトやチェーン、プレスレットなどを投入口やその付近に近づけないでください。

警告

 可燃性スプレー厳禁	●可燃性スプレー（潤滑剤、オイルスプレー、エアードスターなど）を絶対に吹きかけないでください。 ●ヘアースプレーなどを本製品の近くで使用しないでください。 スプレーから噴射された可燃性ガスが本製品内部に残留し、引火や爆発のおそれがあります。
 電源プラグを抜く	●使用しない時はコンセントから電源プラグを抜いてください。思わぬ事故やけがの原因となることがあります。 ●発熱、発煙、異臭、異音、異物混入など異常があった場合はコンセントから電源プラグを抜いてください。 火災や感電のおそれがあります。使用を中止して販売店に修理を依頼してください。
 禁止	●電源は交流 100V 50/60Hz 以外では使用しないでください。 ●コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。 ●電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。 ●電源コードに重い物を載せたり、無理に折り曲げたり、引張ったりしないでください。 火災や感電のおそれがあります。 ●故障や一部破損した状態で使用しないでください。 けがや感電のおそれがあります。 ●投入口をのぞき込んだり、顔を近づけないでください。 けがのおそれがあります。
 分解禁止	●お客様自身での分解、改造、修理はしないでください。 火災や感電、けがのおそれがあります。 販売店に修理を依頼してください。 ご自身で分解、改造、修理を行なった場合は補償の対象となりません。

■細断くずを捨てる

●巻き込みなど故障の原因になりますので、細断した紙が「ダストボックス」にいっぱいになる前に捨ててください。

- 1.「機能スイッチ」を〈停止〉の位置にし、「主電源スイッチ」を〈○〉（切）の位置にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2.「ヘッド部」を持ち上げ、「ダストボックス」内の細断くずを捨ててください。
- 3.「ヘッド部」を「ダストボックス」をセットしてください。正しくセットされていないと「機能スイッチ」を〈自動〉の位置にしても、細断ができません。

注意

- 細断くずは各自治体の定める規定に従って廃棄してください。
- 細断くずは満杯になる前にこまめに捨ててください。細断くずがたまったまま使用を続けると、細断くずがカッターに巻き込まれ、故障の原因となります。

■紙詰まりの処理

■手差し細断の場合

- 1.「機能スイッチ」を〈逆転〉の位置にし、詰まった紙を取り除いてください。
- 2.「機能スイッチ」を〈自動〉の位置にし、紙の量を減らして再投入してください。

■オートフィード細断の場合

1. オートフィード細断時に紙が詰まると、異常を知らせる警報音が【ピー、ピー】と鳴ります。
- 2.「機能スイッチ」を〈停止〉の位置にしてください。警報音が鳴り止みます。
- 3.「機能スイッチ」を〈逆転〉の位置にしてください。「電源ランプ」が点滅し、2～3秒後に逆回転を始めますので、詰まった紙を取り除いてください。

■オーバーヒート

●定格時間以上連続で使用した場合や紙詰まり状態で放置した場合、モーターの過熱による故障を防ぐため、細断が自動的に停止することがあります。

停止した場合は以下の手順で操作してください。

- 1.「機能スイッチ」を〈停止〉の位置にし、「主電源スイッチ」を〈○〉（切）の位置にして電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 60分以上そのまま放置して、モーターを冷却してください。
3. 電源プラグをコンセントに差し込み「主電源スイッチ」を〈ー〉（入）の位置にして、「機能スイッチ」を〈自動〉の位置にしてください。
4. 細断物を投入して細断を行なってください。

■紙を細断する

- 1.「ダストボックス」にヘッド部を正しくセットしてください。正しくセットされていないと、シュレッダーを作動させることができません。
- 2.「主電源スイッチ」が〈○〉（切）の位置にあることを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 3.「主電源スイッチ」を〈-〉（入）の位置にして、「機能スイッチ」を〈自動〉の位置にしてください。



■手差し細断の場合

- 1.投入口の「オートセンサースイッチ」を通過するように細断する紙を「紙投入口」にまっすぐ投入してください。「オートスタートスイッチ」が感知し、自動的に細断が始まります。一度に投入できる枚数はA4コピー用紙64g/m²5枚までです。
- 2.細断終了後、自動的に停止します。

■オートフィード細断の場合

- 1.「オートフィードトレイ」を開きます。
- 2.ステップル（ホチキス）、クリップ、ピンなどが無いことを確認し、細断する紙を揃えて、オートフィード投入口にまとめてセットします。一度にセットできる枚数はA4コピー用紙64g/m²で60枚までです。
- 3.「電源ランプ」が点滅し、2～3秒後数枚ずつ紙送りされ、細断していきます。
- 4.細断が終了しましたら、「機能スイッチ」を〈停止〉の位置にしてから、「主電源スイッチ」を〈○〉（切）の位置にしてください。使用しない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

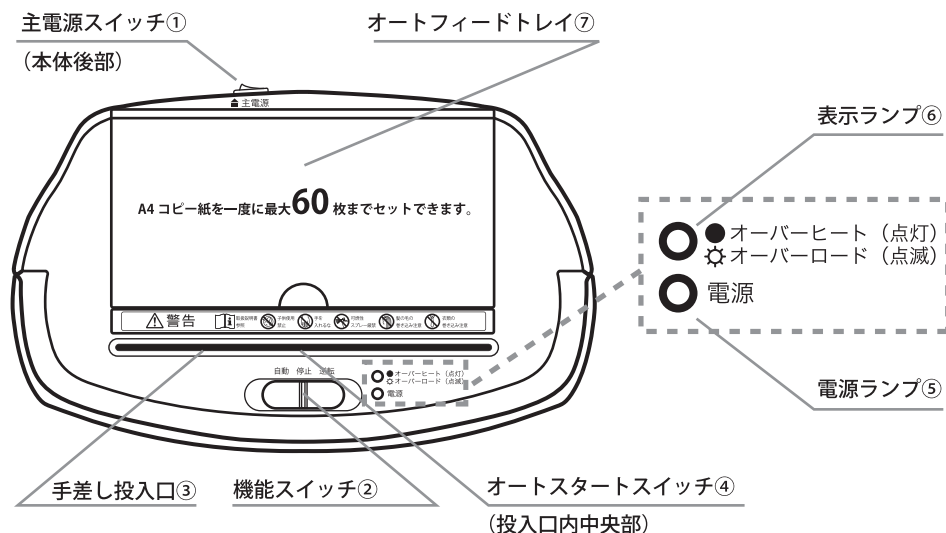
- 投入口をのぞき込んだり、顔を近づけないでください。けがのおそれがあります。
- 手差し細断の場合、連続投入しないでください。紙詰まりの原因になります。
- 紙はそろえて投入してください。
- ステップル（ホチキス）、クリップ、ピンなどは必ず取り除いてから細断してください。
- 紙以外のものは細断しないでください。
- フィルムコートしたはがきや、ラベルが貼られている紙は細断しないでください。細断くずが刃にからみやすく、紙づまりや故障の原因になります。
- オートフィード細断はA4サイズの紙専用です。それ以外のサイズの紙は手差し投入口を使用してください。
- 手差し細断で一度に細断できる枚数はA4コピー用紙（64g/m²）で5枚までです。オートフィード細断で一度にセットできる枚数は60枚までです。
- 規定枚数以上の細断やセット、細断途中での継ぎ足しはしないでください。紙づまりや故障の原因になります。
- 紙の細断具合は、紙質、湿気などにより変わります。ご了承ください。

⚠ 注意

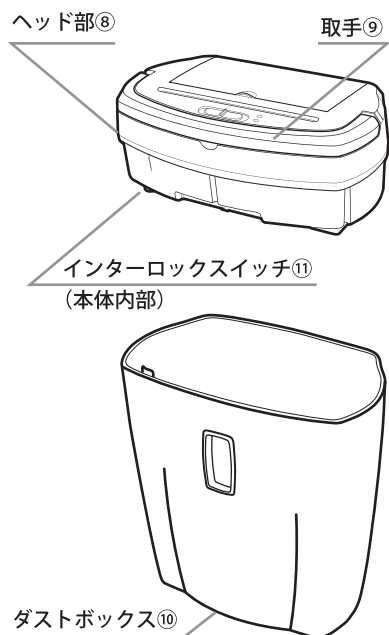
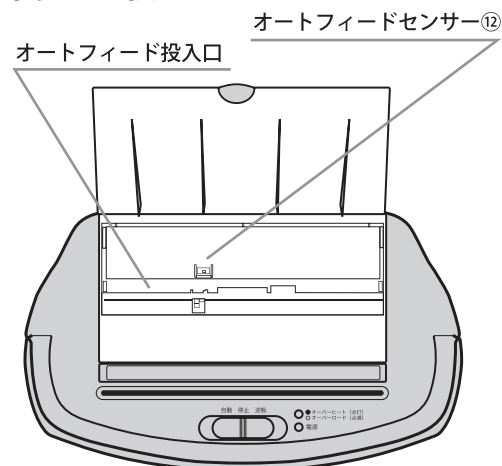
 禁止	●以下のものは投入しないでください。 粘着ラベル、宅配便の送り状、ラベル等のついた紙、湿った紙、和紙、カーボン紙、ティッシュペーパー、新聞紙、フィルムやOHPシート等のプラスチックシート類、各種フィルム、ビニール類、ひも類、布類。 ●最大細断枚数を超える細断物を投入しないでください。 ●ホチキスの針、クリップ、ピンは取り除いてから細断してください。故障や詰まりの原因になります。 ●上に座ったり、乗ったり、物を載せたりしないでください。故障やけがの原因になります。 ●暖房器具や熱器具、火気のそばで使用しないでください。キャビネットが変形し、火災や感電、故障の原因になります。 ●高温多湿の場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。 ●本製品に金属類を入れたり油や水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。 ●直射日光の当たる場所に設置しないでください。誤作動や故障の原因になります。
 注意	●水平で安定した場所に設置してください。本体が倒れ、けがのおそれがあります。 ●電源コンセントの近く（コンセントの抜き差ししやすい場所）に設置してください。 ●電源コードは折ったり束ねたりせず、伸ばした状態で使用してください。 ●電源プラグを抜く時は必ず電源プラグを持ってください。コード部分を引っ張らないでください。火災や感電、故障のおそれがあります。
 電源プラグを抜く	●細断くずを捨てる時やお手入れをする時、本製品を移動する時、長時間使用しない時は、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。火災や感電、けがのおそれがあります。

各部の名称と働き

■オートフィードトレイを閉じた状態



■オートフィードトレイを開けた状態



各部の名称と働き

●主電源スイッチ① (本体後部)

使用される時には〈ー〉 (入) の位置にしてください。
使用されない時は、必ず〈○〉 (切) の位置にしてください。



●機能スイッチ②

使用される時には「自動」の位置にしてください。
紙詰まりなどで逆転される場合は「逆転」の位置にしてください。
使用されない時は、必ず「停止」の位置にしてください。



●手差し投入口③

手差し細断する紙をここから投入します。

●オートスタートスイッチ (紙投入口中央部)④

投入口中央部には感知スイッチがあります。
「紙投入口」から細断する紙を投入すると、自動的に細断が始まります。
「オートスタートスイッチ」を通過するように紙を投入してください。

●電源ランプ⑤

「主電源スイッチ」が〈ー〉 (入) の位置になっていて、なおかつ「機能スイッチ」が〈自動〉または〈逆転〉の位置の場合に点灯します。

●表示ランプ⑥

◎オーバーヒート時常時点灯

3分以上連続で連続で使用した場合や紙詰まりの状態で放置した場合などに、モーターを過熱から保護するために細断が自動的に停止します。その際、この表示ランプが常時点灯します。
復帰させるには、主電源スイッチを〈○〉 (切) の位置にして約60分以上休ませ、モーターの温度が下がるまでお待ちください。モーターの温度が下がれば、再度細断できる状態に復帰します。

◎オーバーロード時点滅

紙が詰まってしまった場合にこの表示ランプが点滅します。
機能スイッチを「逆転」の位置に合わせ詰まった紙を取り除いてください。

●オートフィードトレイ⑦

オートフィード細断をする場合に開きます。

●ヘッド部⑧

内部に細断用の刃があります。取り扱いには十分注意してください。

●取手⑨

細断くずを捨てるため、ヘッドを持ち上げる時に使います。

●ダストボックス⑩

細断した紙を収納します

●インターロックスイッチ⑪

「ダストボックス」が本体に正しくセットされていない時に電源を遮断する安全装置です。

●オートフィードセンサー⑫

オートフィード細断をする場合のセンサーです。